

令和6年度 学校関係者評価報告書

学校法人 北陸学園
北陸食育フードカレッジ
北陸福祉保育専門学院

学校法人 北陸学園の学校関係者評価委員会は、

令和5年度 自己点検・自己評価及び学生アンケートの集計結果に基づき、学校関係者評価を実施。

以下の通り報告致します。

< 評価項目 >

(1). 教育理念・目標

評価項目	意 見	総評及び対策
・学校の理念・目的・育人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	・各専門分野の特性を捉えとともに、基盤となる社会人基礎力を身につけるための教育を提供している。 ・職業人として社会で活躍する人材を育成すべく、社会のニーズに合わせ、公正な軸で捉えた教育課程を付与している。	教育理念・目標に基づき適正に 学校運営がなされている。 学生自身が各資格の 有意性への理解を深め、学習者としてのあ るべき姿を体現できる よう指導する。
・学校における職業教育その他の教育指導等の特性が明確か	・各学科の専門性に特化した教育を実施している。特に実務経験豊富な講師陣、各分野で実績を残している講師から直接指導を受けることができる環境は広く周知されるべきである。	
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	・各業界の情勢を踏まえた的確な課題設定がなされ、将来構想ができている。 ・社会的ニーズに応えうる資格取得が可能な編成となっている。 国内の幅広い地域より意見を取り入れ、将来構想を練っている。	

(2). 学校運営

評価項目	意 見	総評及び対策
・目的等に沿った運営方針(事業計画含む)か	・教育目標を達瀬するための人材育成がなされている。 ・教職員だけでなく、講師、非常勤講師含めて学生指導方針の主軸が共有されており、効果的な教育課程が編成されている。	県内外問わず、広く教科通津を周知することにより、学生数の減少対策を行う必要がある。
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、また、有効に機能しているか	・各部署の組織形態が明確であり、且つ法人全体としての包括的な視点から組織運営がなされている。 ・各担当及び責任の所在、情報共有方法の指示系統が明確であり、速やかな意思決定の元で運営されている。 ・他部署との連携共有が充実している組織形態は特徴的であり、適切なPDCAサイクルが運用されている。	

(3). 教育活動

評価項目	意 見	総評及び対策
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	- 資格取得への目標となる基準に到達できるよう、きめ細やかな声津指導がなされている。 - 教育実施方針に基づき、専門職として求められる技術習得のための段階的な指導計画が編成されている。 - 各専門分野の業界の意見を参考に、独自の教育課程編成をおこなっている。 - 社会情勢を踏まえた課題設定を行い、将来的に専門職へ求められる素質が体得できる教育課程を編成している。	適正な教育カリキュラムの編成となっている。 総体的に現状維持を心掛けより一層の技術・技能の習得を図るとともに、更なる人材育成に注力する 学科毎に更に学生に対しての個別指導の強化を図れるようなシラバスの検討を引き続き行う。 教育編成委員会との連携による授業内容により更に学生の職業教育ができ、学生の満足感にも繋がっている。
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	- 校外実習先等との連携を深め、学内で身につけた技術の実践的レベルにおける到達度について、学習者が明確に把握できる工夫がされている。 - テクニカルチェック等、段階的に明確な目標値を設定し、継続的な指導を行うことにより基礎技術の確実な習得に繋げている。	
・授業評価の実施・評価体制はあるか	個々の教職員の授業評価は整理されており、評価お良い資格取得率等で、その効果を数値化することにより、より良い授業となるよう改善対策がなされている。	
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	- 明確な基準のもとで運営されている。 - 学則で明記され、入学時オリエンテーションでの説明、保護者への説明も都度なれており、理解しやすくなっている。	
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	- 学生ごとに担当教員を決めた上で個別指導を行い、各人の段階に応じて適切に指導されている。 - 入学時の学力に差があることから、一斉授業による学習内容の習熟度を正確に把握し対策することが必要である。 - アルバイトと学業のバランスを生活の中で充分にとれるように指導を行うことが必要である。	

(4). 生徒指導等

評価項目	意見	総評及び対策
・基本的生活習慣の確立のため取組が行われているか	欠席、遅刻、早退時の個別の状況が丁寧に行われ、必要なフォローアップがなされている。 挨拶、身だしなみ、マナー教育が日常生活から細やかに指導されており、学生の姿に製菓が表れている。 寮生活及び学校生活は年間、半期、四半期を基準に計画的に指導されている。	教職員全体で一貫した学生指導がされており、指導上の課題は都度共有され改善に努めている点が毎年 100%の就職率に繋がっている。
・生徒・保護者からの相談体制が整備されているか	相談事項が細分化され、適切な担当者が明確に学生及び保護者へ提示されている。 相談方法・時間・対応期間が明示されることにより、自園の相談確認ができる体制となっている。	
・進学・就職指導にかかる支援体制は整備されているか	個別の希望に応じた就職指導が行われており、支援体制が整備されている。	

(5). 学修成果

評価項目	意見	総評及び対策
・進学率や就職率の向上がみられているか	就職率は100%達成しており、個々の希望に合わせた進路決定がなされている。 地元企業への就職も地域的な課題解決に向けて一考されることを期待する。	①専門的なカリキュラム ②資格取得の為に試験対策 ③学生への個別指導の充実 これらが充実していることにより 現在の就職率及び資格取得率の状況となっている。
・資格取得率の向上の為にカリキュラムは良かったか	過去問題をベースに独自の国家試験対策問題が e-learning 化され、個別のレベルにあわせて利用しやすい学習環境が整えられている。 効果的な時期に適切な回数の模擬試験が実施されており、学生の習熟度を正確に分析できている。 個別学習指導が細やかに行われており、学生のモチベーション向上に繋がっている。 基礎学力の低い学生には入学時から継続的な学習習慣の定着指導が必要である。	
・退学率の減少がみられるか	退学率は減少している。 特に学習面でのつまづきを講師と共に情報共有し、個別指導へ繋がっていることが退学率減少に繋がっている。	

(6). 生徒支援

評価項目	意 見	総評及び対策
・生徒に対する経済的な支援体制は整備されているか	・奨学金支援や、個別に相談を受けるなどの支援体制を整備している。	現状維持を望む。 経済的に修学の難しい学生に対する支援体制の強化も検討する。 コロナ対策として遠隔授業対応整備も行われている。
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	・奨学金支援や、個別に相談を受けるなどの支援体制を整備している。	
・生徒の生活環境への支援は行われているか	・学校設備、寮の設備の完備は素晴らしい。	
・保護者と適切に連携しているか	・様々な問題に対して予測できる段階で早期に状況を保護者と共有し、速やかに対処できるよう配慮されている。	

(7). 教育環境

評価項目	意 見	総評及び対策
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	特に問題はない。	学園及び寮の整備・点検を現状通り継続的に行い、現状の維持を図ってほしい。
・防災に対する体制は整備されているか	防災責任者により、防災時の動きについて体制が確立されている。緊急連絡体制をとり、迅速な対応をしている。	

(8). 生徒の受入れ募集

評価項目	意 見	総評及び対策
・生徒募集活動は、適正に行われているか	現状行われているカリキュラムや魅力的な教育課程についてわかりやすく広く周知される工夫がさらに必要である。 業者とのタイアップにより高校へのスキルアップ授業の参入等含め工夫している。 SNS を活用した情報開示に注力し、数値目標達成のための取り組みをさらに強化する。	高校生の進路決定に有益な内容で体験入学を実施し、県内外問わずに広く周知されることを期待する。
・生徒募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	継続的なキャリアプランを踏まえた細やかな就職指導 内定先状況等、成果の上がっている部分を更に協調すべきである。	
・学納金は妥当なものとなっているか	問題ない	

(9). 財務

評価項目	意 見	総評及び対策
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	問題はない	学生数減による収入減は否めない。 学生数減少による収入減少を様々な経費削減等により支出減となっており、 努力の成果がでている。
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	理事会でもきちんと説明されている。問題はない。	
・財務について会計監査が適正に行われているか	会計士による毎月のチェック体制も含め適正である。	

(10). 法令等の遵守

評価項目	意 見	総評及び対策
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	全く問題ない	学校法人としての社会的責任を全うするために、個人情報の保護をはじめ、 様々な面で法令違反のないように 法令を遵守するための体制を整え 周知徹底することが重要である。
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	個人情報に関しての厳重な対策が取られている。	
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	自己評価に基づき、問題点を毎年改善するように努力している。	

総評

上記10項目に対し、委員による評価は概ね評価する。

学生募集を更に力を入れていくことが必至。

学園が地域と連携して様々な取り組みをしていることは評価に値する。今後も継続して頂きたい。

学生の興味関心、環境も変わってきている。魅力あるプログラムを更に検討して欲しい。

<学校関係者評価委員>

加藤 聡介 (学)北陸学園 理事長

加藤 圭子 (学)北陸学園 理事長補佐

長谷川佐久信 (有)鴨川館 代表取締役

松井 秀明 (株)美松 代表取締役

角谷 正雄 (社)若葉会 金城幼稚園・保育園 園長

飛永 賢一 (社)高龍会 西部保育園 園長

高野 隆芳 (株)グッドエイジングクラブ 総支配人

加藤 理代 特別養護老人ホームかつぼ園 園長

<学内職員>

山本 春奈 北陸食育フードカレッジ 調理・製菓・フードマイスター学科

千谷 敬子 北陸食育フードカレッジ 管理栄養士学科

小林 智子 北陸福祉保育専門学院 こども系学科